

敦賀火力発電所2号機の運転停止について

平成23年12月1日
北陸電力株式会社

当社は、敦賀火力発電所2号機(定格出力：70万kW)の石炭バーナーに損傷が認められたことから、本日(12月1日)、発電を停止し点検を実施することとしました。

今回の発電停止により、一時的に供給予備率が7%程度に減少しますが、今後、火力発電所の増出力等により供給力確保に努め、安定供給に万全を期してまいります。

敦賀火力発電所2号機(定格出力：70万kW)は、通常運転中のところ、11月30日17時頃、ボイラー下部の灰処理装置¹よりボイラー石炭バーナー²部品の破片が発見されました。そのため、出力を低下し確認を行ったところ、石炭バーナーに損傷が認められたことから、点検を実施するため、本日(12月1日)、1時1分に発電を停止しました。

損傷が生じた原因については、現在調査中です。

今回の発電停止により、一時的に供給予備率が7%程度に減少しますが、今後、火力発電所の増出力等により供給力確保に努め、安定供給に万全を期してまいります。

以上

別紙：石炭バーナー損傷の概要

1 ボイラー下部の灰処理装置

ボイラー(石炭を燃焼し蒸気を発生させる設備)底部に設置されており、内部に張ってある水により、落下してくる灰を冷却粉碎し、定期的に炉外に自動排出する装置

2 石炭バーナー

粉末化した石炭をボイラー内に送りこみ、燃焼させるための装置

【石炭バーナー損傷の概要】

